



あたらしい本のしょうかい

小学生
向け

斜里町立図書館 (しゃりちょうりつとしょかん) NO. 164 2018. 12

1・2年生
向け

『まよなかのおならたいかい』

なかむら しょうこ さく

「さいきんどうぶつたちがねてばかりいるな」しいくいんのげんさんはしんぱいになり、よなかこっそりとどうぶつたちをみてることにしました。するとどうぶつたちは「おならたいかい」をひらいておおさわぎ！ゆうしょうをめざしてつぎつぎおならをします。

『きっちり・しとーるさん』

おのりえん さく・え

しとーるさんはいつもきっちり。なんでもテキパキじかんどおりにきっちりすぎて、まわりのひとにこわがられてしまうこともあります。そんなしとーるさんはだいすきなゆきによる、ノミだらけのきたないこねこにであいます。

『めくって学べるきかいのしくみ図鑑』

がっけんプラス

ふだんみのまわりでうごいているエレベーターやじどうしゃ、ひこうきのなかみてどうなっているんだろう。このずかんをみれば、きになるきかいのなかみがみえます。さあめくってなかみをみてみよう。

3・4年生
向け

『大好き！おじさん文庫』

深山 さくら 著

山の中の小さな小学校に差し出し人の名前がない手紙が届いたのは、1974年4月。中には「毎月本代を送ります」と書かれていました。色々な本を読むことができるようになった子どもたちは、送り主のおじさんにありがとうを伝えるために、おじさんを想像して似顔絵を書き始めます。

『森のとしょかんのひみつ』

小手鞠 るい 作

ひつじ郵便局長、スミレ先生、こぶたくん、かめばあさんなど、森の仲間達が森の図書館に大集合。みんなとっても忙しそうです。ただひとりひまそうなのはあごひげ館長だけ。こんなことは今まで一度もなかったのに…。いったい森の図書館で何が起きているのでしょうか。

『文房具を使いこなす1』

書く道具：えんぴつ・ペン』

WILL こども知育研究所 編

えんぴつやシャーペンの正しい使い方を知っているかな？文房具を正しく、自由にあやつれるようになれば、字だって必ずうまくなる。学校でよく使う文房具をイラストと写真でわかりやすく解説します。

5・6年生
向け

『ぼくらの一歩』

いとう みく 作

6年生の水口萌花は2学期に家族の都合で栗山小学校に転校してきた。30人31脚のメンバーが1人足りず困っていたクラスは待ってましたとばかりに歓迎し、萌花も思わず引き受けてしまう。しかし萌花はその時、「30人の1人」として走ることがどういうことなのかをまだわかっていなかった。

『犬ぞり探検家が見た！』

ふしぎな北極のせかい』

山崎 哲秀 著

北極と聞いて、雪と氷と寒さが厳しい所とかよくわからない所と思う人が多いと思います。実際に北極を犬ぞりに乗って探検した著者が、北極の自然や生き物、北極に最も近いところで生活する人たちの暮らしから、北極のすばらしさを教えてくれます。

『ノーベル賞受賞者が教える』

ノーベル賞をとる方法』

バリー マーシャル 著

科学が大好きで将来ノーベル賞をとりたいと思っているマリーはお母さんに頼み込んで、有名な科学者が来るといふ科学センターに連れてきてもらった。だけどいつまでたっても科学者は現れない。待ちきれなくなったマリーが探しに行くと…。ノーベル賞受賞者が教えるノーベル賞をとる秘訣とは。